沖縄県産業廃棄物に関する

処理業者調査票

**問１ 貴事業所の概要について、ご回答ください。**

|  |
| --- |
| 会 社 名： |
| 住所　　： 　 ℡( )  |
| ご回答者 氏名： |
| 所属・役職名： |

**問２ 産業廃棄物の受入、処理状況について**

平成27年度及び2８年度に、貴事業所の処理施設（県内所在の施設のみ）で受け入れた産業廃棄物について、以下の表に示す年間受入量等の実績をご記入ください。おおよそで結構です。

|  |
| --- |
| ①中間処理量（中間処理した合計量） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　　）ｔ/年 | （ 　　　　　 ）ｔ/年 |
| ②中間処理後の残さ量（中間処理後残さ量の合計量 ＝ ③＋④＋⑤ ） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　　）ｔ/年 | （ 　　　　　 ）ｔ/年 |
| ③中間処理後残さの再生利用量 （自社利用、他人に売却又は無償譲渡した合計量） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　 　 ）ｔ/年 | （ 　　　 　　 ）ｔ/年 |
| ④中間処理後残さの中間処理量（自社の中間処理後物を他人に中間処理委託した合計量） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　 　 ）ｔ/年　　　　　　　 　　（ 　　　 　　 ）ｔ/年 |
| ⑤中間処理後残さの埋立処分量（他人に埋立処分を委託した合計量） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　 　 ）ｔ/年 | （ 　　　 　　 ）ｔ/年 |
| ⑥埋立処分量（埋立処分場を設置されている方のみ回答） |
| 平成27年度 　 →　→　→　→　→　　　平成28年度 |
| （ 　　　　）ｔ/年 | （ 　　　　　 ）ｔ/年 |

　　※ここで「残さ」とは、中間処理（破砕、選別、焼却、脱水等）後に残った物（廃棄物又は再生品等）をいいます。

受託量

①中間処理量

中間処理による減量

②中間処理後の

残さ量

③中間処理後残さの

　再生利用量

再生利用量

④中間処理後残さの

　中間処理量

⑤中間処理後残さの

　埋立処分量

⑥埋立処分量

**問３　米軍廃棄物の受入について**

貴事業所では、平成2８年度に米軍基地からの廃棄物等（①有価物・有償物、②産業廃棄物、③一般廃棄物のいずれか）を受け入れましたか。該当する番号に○をつけてください。なお、受け入れた場合は、年間の受入総量とそのうち上位３件の排出場所（基地名）、年間の受入量、主な種類、資源化用途、処理方法等を記入してください。

　＜有価物・有償物（購入した物）：貴事業所が排出者にお金を支払った＞

|  |
| --- |
| １　受け入れた･･･････年間受入総量（　　　　　　　　　）トン①基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　 　、資源化用途→　　　　　　　　　　　　）②基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、資源化用途→　　　　　　　　　　　 　）③基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、資源化用途→　　　　　　　　　　　 　）２　受け入れていない |

 ＜産業廃棄物＞

|  |
| --- |
| １　受け入れた･･･････年間受入総量（　　　　　　　　　）トン①基地名（ 　　　　　　　　　　 　）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）②基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）③基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）２　受け入れていない |

 ＜一般廃棄物＞

|  |
| --- |
| １　受け入れた･･･････年間受入総量（　　　　　　　　　）トン①基地名（ 　　　　　　　　　　 　）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）②基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）③基地名（ 　　　　　　　　　　　 ）、年間受入量（　　　　　　　　　）トン（主な種類 →　　　　　　　　　　　、処理方法→　　　　　　　　　　　 　）２　受け入れていない |

**問４　中間処理残さ物の処分について**

（１）貴事業所では、平成２８年度に自社中間処理後の残さ物を県内又は県外業者に委託処理しましたか。該当する番号を１つ選び○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）など委託内容について、ご記入ください。（主な種類２つまで）

|  |
| --- |
| １　委託していない　　　２　県内の業者に委託している　　　３　県外の業者に委託している |

　　＜委託内容＞

|  |
| --- |
| １　中間処理を委託した･･･①種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（ 　　　　　　　　　　　　）②種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（　 　　　　　　　　　　　）２　再生利用を委託した･･･①種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（　 　　　　　　　　　　　）②種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（　 　　　　　　　　　　　）３　埋立処分を委託した･･･①種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（　 　　　　　　　　　　　）②種類（ 　　　　 　　　　　 ）、重量（ 　　 　　　　　　　　トン）委託先（　　　　　　　　　県 ）､業者名（ 　　　　　　　　　　　　） |

（２）上記設問で「３　県外の業者に委託している」に○印をつけた方にお聞きします。それはどういう理由ですか。該当する番号に○印（2つまで）をつけてください。

|  |
| --- |
| １　料金が安い２　利用しやすい（搬入受付日、荷姿の面等）３　安全性が高い４　信頼性が高い５　県内に処分できるところがない６　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問５　県外から搬入のあった産業廃棄物について**

貴事業所では、平成2８年度に県外から処理・処分を目的とする産業廃棄物を受け入れましたか。該当する番号を選び○をつけてください。また、受け入れた場合は、その種類・量等をご記入ください。

|  |
| --- |
| １　受け入れた ①中間処理を受託した･･･ 種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　　 　　　トン）　　　　　　　　 　　　排出地（　　　　　　　　県 ）　　　　　　　 　②再生利用を受託した･･･ 種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　 　　　　トン）　　　　　　　　 　　　排出地（　　　　　　　　県 ）　　　　　③埋立処分を受託した･･･ 種類（　　　　　　　　　 　）、重量（　　　 　　　　トン）　　　　　　　　 排出地（　　　　　　　　県 ）　　　　　　２　受け入れていないが、打診はあった（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）３　受け入れていない  |

**問６　水銀規制について**

「水銀に関する水俣条約」の発効に伴う大気汚染防止法の改正により、廃棄物焼却炉（火格子面積2㎡以上又は処理能力200kg/h以上）に対して水銀の大気への排出基準が定められています（規制は平成30年4月1日より施行）。また、水銀排出施設設置の届出のほか、排ガス中の水銀濃度の測定も義務化されます。

貴事業所では、産業廃棄物の中間処理施設として焼却炉（火格子面積2㎡以上又は処理能力200kg/h以上）を有していますか。また、有している場合、水銀濃度の測定等をしていますか。該当する番号に○をつけてください。

|  |
| --- |
| １　焼却炉を有しておらず、新たに焼却炉を設置する予定もない２　焼却炉を有していないが、新たに焼却炉を設置する予定である３　焼却炉を有しており、水銀排出施設の届出に向けて排ガス中の水銀濃度の測定を始めている４　焼却炉を有しており、排ガス中の水銀濃度の測定を近いうちに行う予定である５　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問７　大規模災害発生時のＢＣＰ（事業継続計画）について**

大規模災害（地震、津波、風水害等）により発生した災害廃棄物の処理について、全国的に検討が進められています。沖縄県においても、平成29年3月に沖縄県災害廃棄物処理計画※を策定しました。

貴事業所においては、大規模災害によって事業所に損害が発生した場合でも損害を最小限に留め、事業の早期復旧を図ることを目的としたBCP（事業継続計画）を作成していますか。また、発災時に、災害廃棄物の処理を支援する体制は構築していますか。該当する番号に○をつけてください。

※沖縄県災害廃棄物処理計画の詳細は県のホームページ

（<http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/saigaihaikibutusyorikeikaku/saigai_keikaku_gaiyou.html>）をご覧ください。また、BCP（事業継続計画）の詳細は内閣府ホームページ（ <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/index.html>）をご覧ください。

|  |
| --- |
| １　BCP（事業継続計画）を作成しており、災害廃棄物処理の支援体制も構築している２　BCP（事業継続計画）を作成しているが、災害廃棄物処理の支援体制は構築していない３　BCP（事業継続計画）を作成していないが、災害廃棄物処理の支援体制は構築している４　BCP（事業継続計画）を作成しておらず、災害廃棄物処理の支援体制も構築していない５　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**問８　産業廃棄物税導入による影響・効果について**

（１）沖縄県では、平成18年4月1日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、① 公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、② 事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③ 処理業の優良化の促進、④ 不法投棄等防止対策等の施策に充てています。

貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号に１つ○をつけてください。

|  |
| --- |
| １　評価できる２　やや評価できる３　あまり評価できない※税制度・使途等については、沖縄県環境整備課のホームページ（http://www.pref.okinawa.jp/site/kankyo/seibi/7721.html）をご覧ください。４　評価できない５　わからない |

（２）今後、税収の使途・事業として、どのような施策を充実すべきだとお考えですか。該当する番号に○をつけてください。（複数回答可）

|  |
| --- |
| １　公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき２　産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき３　産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき４　処理業者の優良化の促進を強化すべき５　不法投棄の防止対策や監視・指導体制を強化すべき６　電子マニフェストの導入等に関する支援を強化すべき７　講習会の開催等により、産業廃棄物に関する法律や制度等の普及・啓発を強化すべき８　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

－ ご協力ありがとうございました。－